

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

法人名	株式会社 ポピンズエデュケア
施設名	ポピンズナーサリースクール西六郷
施設所在地	東京都大田区西六郷三丁目1番7号アクトシティ大田六郷7号街

1. 活動のテーマ

<テーマ>

多文化、世界について知る

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園としては、子どもたちが大きな声で歌ったり、ピアノで演奏したり、廃材を使って好きなものを作って表現したりする様子を見て

日頃から親しんできた活動の延長線上で今回のテーマを掘り下げることができそうだと判断した。

子どもたちは、からだを動かして遊ぶこと、劇や音楽、製作で自身を表現すること、新しいことにチャレンジすることなど、自ら進んで興味を持ち取り組む姿がみられた。一方で、英語に触れる機会があると、言葉を発することに興味を持つが、日本以外についての知識はまだあまり無く、世界に興味を持つ入口となって欲しく今回のテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

6月	ブータン	世界の国々を知る	国旗について知る
7月	スリランカ	どんな国が、どこにあるか知る	
8月	イタリア	演奏をしてみる	
9月	ケニア	マスキングテープで表現を楽しむ	
10月	メキシコ	海外の文化・風習に登場する実物に触れてみる	
11月	コスタリカ	陸や海の生物の多様性を知る	
12月	オーストラリア	廃材で建築物など模倣して作ってみる	
1月	デンマーク	色とりどりのレゴなどのおもちゃで自分なりの表現を楽しむ	
2月	イギリス	実際に海外に出たら何をしたいか想像を膨らませる	

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・オンラインでの海外との中継をもってしてその国の文化や特徴を知る。(スピーカーなどオンライン設備の設定)
- ・廃材遊びのための素材・模造紙・絵具・地球儀・世界のパズル・世界の国旗カード・マスキングテープ・パンプキン・ピアノ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

導入として毎月一回、世界の国々とライブ中継をし、現地の人々と触れ合いながら、その国の文化や風習などの知識を取り入れる。

視聴後に保育者がファシリテーターとなりながら、子どもたちとどんな活動をしていきたいか子どもの声を引き出すように進めた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

それぞれの国の文化や風習、自分の国との違いに興味をもった発言もあれば、おとなでは気が付かないような点にも注目していたりして、その視点のユニークさに驚かされたりもした。子どもたちのできる限りの生の声を大事に、そこからその次の活動をどう展開していくかを考え、実践していった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたち一人ひとりの特性が活動の過程、結果によく表れていたと感じる。率先して自分の意見を述べ、相手に伝えようとする姿、自分の得意な分野はリードしてくれようとする姿、よく特徴を捉えており、それを的確に表現する子、日頃の遊びに発展させていく子たち、友達同士で活動についての話をする姿、私たちもいつにも増してじっくりとその活動をする姿にクローズアップして子どもたちの言動に注視していたため、子ども一人ひとりに新しい発見をすることができてとても新鮮でした。